

No.191
2019.3

広報ねは



村の木 す ぎ

村の花 岩つづじ

私たちの村	
人口と世帯 31年3月1日現在	
総人口	908人
男	440人
女	468人
世帯数	408世帯

発行 根羽村役場
〒395-0701 長野県下伊那郡根羽村2131-1
TEL 0265-49-2111 FAX 0265-49-2277

ホームページアドレス <http://www.nebamura.jp>
メールアドレス info@nebamura.jp
印刷 龍共印刷株式会社



3月3日に福祉と健康の集い
が開催され、立川談慶さん
による講演が行われました。

※詳細は7ページ

3月号の主な内容

平成31年度予算	2・3ページ
3月定例会議	4ページ
人の動き 他	5ページ
義務教育学校	6~7ページ
福祉と健康の集い 他	7ページ
フォトコンテスト 他	8ページ

平成31年度予算 一般会計 16億3,500万円の予算規模

前年対比 4.2%増

歳 入

一般会計予算では、第5次総合計画、総合戦略の目標達成に向けて、引き続き産業振興につなげる林業基盤整備の継続をはじめ、新たに、平成32年度開校を目指す義務教育学校準備事業、移住定住コーディネータや地域おこし協力隊などの地域活性化対策、放課後子ども教室や高校3年生までの医療費全額無料化など子育て支援の拡充に加え、村道改良工事、茶臼山観光施設整備、水害発生を防ぐための河畔林整備等を計画し、前年度と比較して4・2%増の総額で16億3500万円となりました。

高校3年生までの医療費全額無料化など子育て支援の拡充に加え、村道改良工事、茶臼山観光施設整備、水害発生を防ぐための河畔林整備等を計画し、前年度と比較して4・2%増の総額で16億3500万円となりました。

村づくりの基本となる一般会計予算他六特別会計予算が去る3月19日、村議会定例会で可決されました。一般会計予算では、第5次総合計画、総合戦略の目標達成に向けて、引き続き産業振興につなげる林業基盤整備の継続をはじめ、新たに、平成32年度開校を目指す義務教育学校準備事業、移住定住コーディネータや地域おこし協力隊などの地域活性化対策、放課後子ども教室や

高校3年生までの医療費全額無料化など子育て支援の拡充に加え、村道改良工事、茶臼山観光施設整備、水害発生を防ぐための河畔林整備等を計画し、前年度と比較して4・2%増の総額で16億3500万円となりました。

一方、依存財源は地方交付税の実績見込等から470万円減を見込んでいます。一方、依存財源は地方交付税を除き5億177万円余で、県支出金が2億5181万円余(15・4%)、村債については、学校施設環境整備事業、林道開設工事等を予定しているため、前年比8・7%増の2億940万円(12・8%)となっています。

歳 出

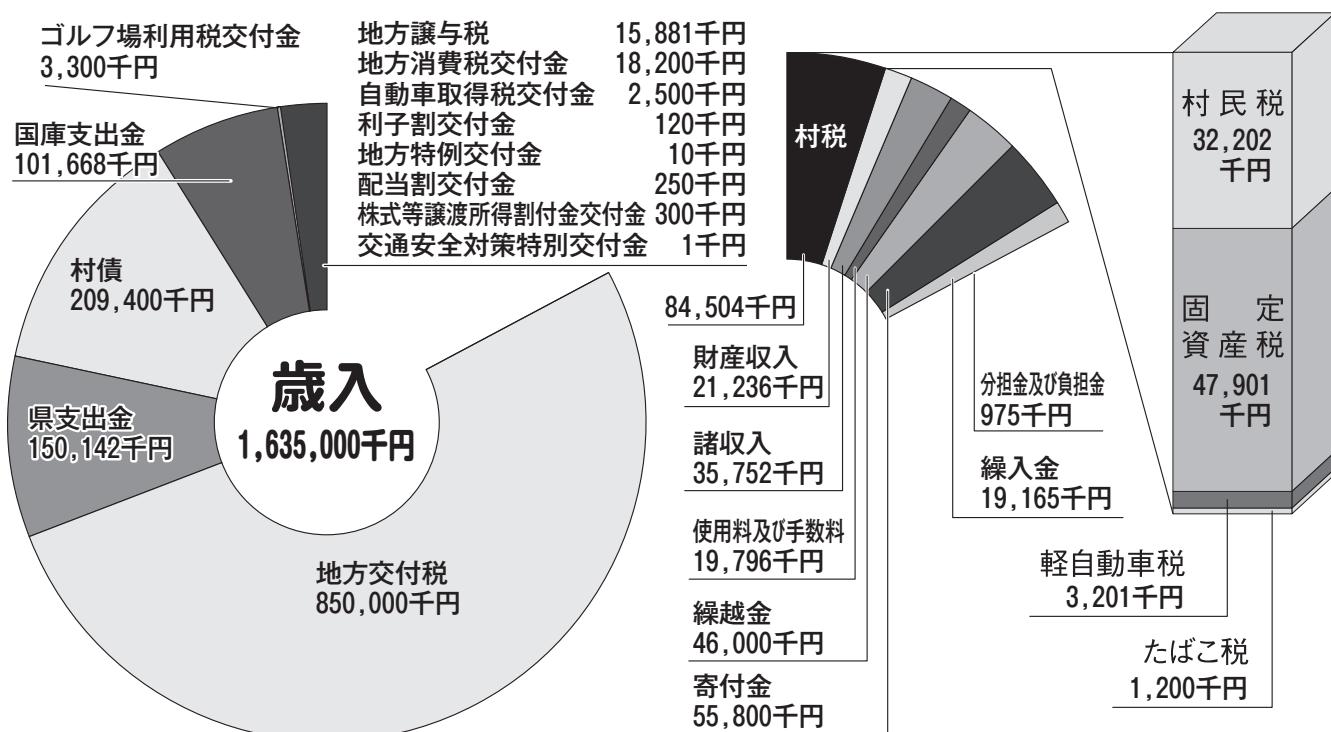
目的別に見ますと、経年劣化している林道開設事業に要する経費等を含む農林水産業費が3億5118万円余(21・5%)、次いで総務費3億0996万円余(19・0%)、公債費(定期償還分)が2億6190万円余(16・0%)以下、教育費、民生費、衛生費、商工費の順となっています。

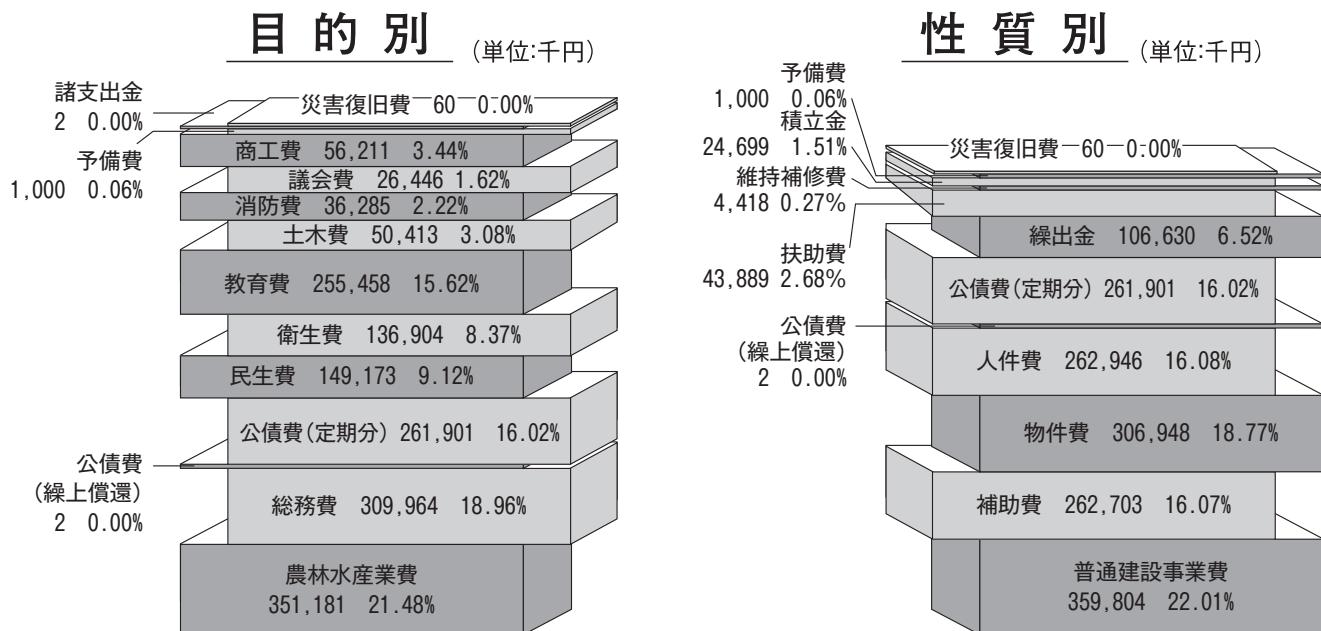
次に性質別を見ますと、普通預金と定期預金の組合せによる地方交付税について、国では増額するとしています。当村においては、平成30年度の普通交付税実績額と比べ約10・9%減の8億円と見積もった予算編成としています。

村独自の収入である自主財源は2億8322万円余(17・3%)となっています。

※()は歳入・歳出全体における構成比

自主財源283,228千円(17.32%) 依存財源1,351,772千円(82.68%)





平成31年度の主な新規事業

区分	実施事業	事業の概要
総務費	(新)トライアルハウス運営事業	村外からの就業者確保、外部指導者による村内産業の維持・地域資源を活かした新たな産業の創出に向かって地域活性化を目指します。
	(新)移住コーディネータ事業	移住イベントの開催、情報発信、移住希望者と地域とのマッチング等を行う人材を確保し、村への移住者増加を目指します。
	(新)地域おこし協力隊経費	村の魅力、特産品等の情報発信を充実させ、より多くの方にPRし、関係人口増加を目指します。
	(新)地域おこし企業人関係経費	都市部企業の社員と連携して、地域資源を活用した村内での新たな雇用の場の創出と村外への営業等を行い、村の新たな可能性を見いだしていきます。
民生費	(新)プレミアム付商品券発行事業	消費税率の引上げが予定される中、低所得者や子育て世帯に与える影響を緩和し、地域における消費を喚起する目的に事業が実施されます。
衛生費	(新)風しん対策事業	昭和47年4月から昭和54年3月生まれの男性を対象に抗体検査受けていただき、抗体が不十分な方に予防接種を受けていただきます。
	(新)介護サービス確保対策事業	訪問系介護サービスの確保を図るため、サービス事業者の長距離移動に要する経費の一部を補助します。
	(新)母子保健事業	不妊症などの治療費に対しての補助、新たに妊娠の歯科検診を創設し健康管理を支援します。
林業費	(新)林業・木材産業成長化促進対策事業	林業生産コストの低減を図るために必要な高性能林業機械をリース支援により導入します。
商工費	(新)茶臼山観光施設整備事業	茶臼山キャンプ場内にサニタリー棟(トイレ・シャワー室)を建設します。
土木費	(新)村道(中-23号線)改良工事	上町村民中駐車場から国道までの未舗装部分を中心に舗装や側溝設置等改良工事を実施します。
	(新)河畔林整備事業	水害の発生を防ぐため未整備の河畔林の整備を実施します。
教育費	(新)義務教育学校開校準備事業	平成32年度開校を目指し、学校の改造工事と設立準備会による教育課程などの検討を行います。
	(新)親子留学推進事業	安城市に居住する小中学生を対象にした親子留学をスタートします。

各会計別予算の比較

(単位:千円)

区分	31年度予算額	30年度予算額	比較	伸率%
特別会計	一般会計	1,635,000	1,569,000	66,000
	国民健康保険会計	76,300	93,000	△16,700
	簡易水道会計	59,700	36,400	23,300
	下水道会計	63,100	65,300	△2,200
	介護保険会計	214,200	197,000	17,200
	根羽村営バス会計	15,400	15,200	200
	後期高齢者医療会計	18,100	18,500	△400
	合計	446,800	425,400	21,400
総合計		2,081,800	1,994,400	87,400
				4.4

議会だより

3月定例会

31年度一般会計予算等

20議案について審議

3月5日・6日・19日の3日間にわたり、3月定例会が開催されました。内容については、次のとおりです。

一般質問

以前質問した件の現在の進行状況について

◆下井敦志議員
質問 子育て支援の施策について

①出産祝、若者定住祝金の支給基準の改正

②村独自の給付型奨学金制度、奨学金返済補助制度の創設

③育英資金の幅広い活用

回答 ①村民の皆さんや若い人達の意見を聞く中で、安心して子育てをして頂けるよう改正の検討をしていく。定住祝金についても必要な都度柔軟に対応していく。

②一定の条件を満たして頂ければ給付型や返済を支援する制度等について検討していく

③村民の皆さんへの要望を聞く中で幅広く活用できるよう情報収集し、制度について検討していきたい。

質問 保育所、学校に関して

◆下井敦志議員
質問 子育て支援の施策について

①山ほいく
②学校給食無償化
③小中学校の通学路における安全確保

回答 ①村では1週間で5時間以上屋外の活動を中心とした活動が条件とされている普及型の認定に向け、職員が研修会等に参加している。現在、平成31年の6月に申請を行い、9月頃認定を頂けるよう進めている。

②保護者の負担を軽減するため学校給食の無償化は、重要な課題と位置づけています。早い段階で導入するよう検討していきたい。

③駐在所が田島地区に移転した事により、地域を取り巻く環境が大きく変化し生活安全、交通安全の面で非常に効果が発揮されている。また、県にはスピード抑制のカラー舗装

や照明の設置等して頂いています。これからも安全対策について万全な対応をしていく。

条例

◆根羽村議会の議員の報酬の特例に関する条例の一部を改正する条例
31年度給与の7%を減額する条例の改正がされました。

◆地域産業再生拠点施設の設置及び管理条例の制定
赤坂地区に建設した地域産業再生拠点施設（トライアルハウス）に伴う設置及び管理条例の制定がされました。

◆根羽村災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
国の中の法律等の改正に伴い条例の制定及び改正がされました。

◆平成30年度根羽村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
療養給付費等により、1000円を追加し、総額1億9806万6000円となりました。

◆平成30年度根羽村簡易水道特別会計補正予算（第3号）
災害応急復旧事業費の確定により、289万6000円を減額し、総額4426万円となりました。

◆平成30年度根羽村下水道特別会計補正予算（第1号）
事業費の確定により維持管理費192万5000円を減額し、総額6337万5000円となりました。

◆平成30年度根羽村介護保険特別会計補正予算（第1号）
介護予防事業利用者の増により、237万4000円を追加し、総額2億720万1000円となりました。

◆根羽村営住宅使用料条例の一部を改正する条例
住宅の建設に伴い対象住宅に関する記載の改正がされました。

◆平成30年度根羽村営住宅使用料条例の一部を改正する条例
住宅の建設に伴い対象住宅に関する記載の改正がされました。

◆補正予算（第6号）
ケーブルテレビ支障移設

◆平成30年度根羽村一般会計補正予算（第6号）
ケーブルテレビ支障移設経費等により、1億7144

8万8000円を追加し、総額19億6678万8000円となりました。
◆平成30年度根羽村一般会計補正予算（第7号）
根羽村水源の郷基金返礼品事業費等により、1040万6000円を追加し、総額1768万5000円となりました。

当初予算

◆平成31年度根羽村国民健康保険特別会計予算
療養給付費等により、1000円となりました。

◆平成31年度根羽村簡易水道特別会計予算
別会計予算

◆平成31年度根羽村下水道特別会計予算
別会計予算

◆平成31年度根羽村バス特別会計予算
別会計予算

◆平成31年度根羽村後期高齢者医療特別会計予算
別会計予算

その他

◆平成30年度根羽村介護保険特別会計補正予算（第3号）
介護予防事業利用者の増により、237万4000円を追加し、総額2億720万1000円となりました。

◆平成30年度根羽村小中学校空調設備設置工事請負契約の締結について
小中学校の空調設備の設置に係る工事の契約について、承認がされました。

人の動き

小・中学校教職員の方々が
年度末の人事異動により転出
入されました。

根羽小学校

【転出6名】

○松澤 玲代 教頭先生
龍江小学校へ校長として
(飯田市)

○黒柳 祐子 先生

○阿智第一小学校へ(阿智村)
片桐 清史 先生

○伊藤 勇真 先生
城南中学校へ(飯山市)

○木下 めぐみ 先生
上村小学校へ(飯田市)

○前原 修 教頭先生
辰野南小学校より
(辰野町)

○高陵中学校へ(飯田市)

○鶴東小学校へ(新潟市)

○伊藤 勇真 先生
城南中学校へ(飯山市)

○木下 めぐみ 先生
上村小学校へ(飯田市)

○前原 修 教頭先生
辰野南小学校より
(辰野町)

○小久保 真之 先生
浪合小学校より(阿智村)

○北原 沙智 先生
高陵中学校より
(飯田市)

○林 みさき 先生
信大附属松本中学校より
(松本市)

○石川 千晴 先生
新規採用
(阿智村)

○阿智第一小学校より
(阿智村)

○上野 雄登 先生
天龍小学校より(天龍村)

根羽中学校

【転出6名】

○塚田 秀 教頭先生
真田中学校へ校長として
(上田市)

○齊藤 由紀子 先生
飯田OIDE長姫高校へ
(飯田市)

○松原 浩 先生
高陵中学校へ(飯田市)

○柳澤 知奈 先生
退職

○北原 健治 先生
退職

○小林 志奈乃 先生
櫻ヶ岡中学校へ(長野市)

○下井 慶 先生
飯田東中学校より(飯田市)

○牧野 祐治 先生
旭ヶ丘中学校より(飯田市)

○高陵中学校より
(飯田市)

○田中 義憲 先生
高陵中学校より
(飯田市)

○北原 知佳 先生
新規採用
(松本市)

◇新規採用(4月1日付)

総務課 宮島 真洋(飯田市)

浅井 呂空(豊田市)

住民課 久保田洋平(飯田市)

平成31年度 根羽村消防団役員

平成31年度の消防団の役員は次のとおりとなりました。今後とも消防団活動に対し村民の皆様のご理解とご協力をお願いするとともに、火災予防にも努めて頂きますよう、お願い致します。

副分团长	第二分团长	第一分团长	旗手	喇叭长	本部长	副团长	团长
筒井 加藤 西尾	原 藤城 石原	松下 南木 鈴木	松下 直樹	鈴木 伸弥			
邦典 雅晃 真吾	淳也 友宏 弘章	剛樹 秀平	一美 孝宏	直樹			
"	"	"	"	"	"	"	"
副分团长	第二分团长	第一分团长	旗手	喇叭长	本部长	副团长	团长

国民健康保険のしくみ&届出

国保のしくみ

国保とは、病気やけがをしたときに安心してお医者さんへかかるように、加入者(被保険者)がお金(国保税)を出し合って、医療費を補助する制度です。

国保に加入する人

職場の健康保険等に加入している人、後期高齢者医療制度の対象者、生活保護を受けている人以外のすべての方が国保の加入者となります。

※加入は世帯ごととなり、加入に関する届け出は世帯主が行います。

届け出は、取得や喪失の事由が発生した時から14日以内に役場窓口へ申請してください。

加入するとき

- ・職場の健康保険等の資格を喪失したとき(退職日の翌日)
- ・他市町村から転入したとき
- ・子どもが生まれたとき
- ・生活保護を受けなくなったとき

やめるとき

- ・職場の健康保険等に加入したとき
- ・他市町村へ転出したとき
- ・死亡したとき
- ・生活保護を受け始めたとき
- ・後期高齢者医療制度の対象となったとき(75歳の誕生日から)

国保についてのお問い合わせは
役場住民課へ
お願いします。



届け出がおくれると…

◆保険証がない期間の医療費はやむを得ない場合を除き全額自己負担となります。また、保険税は届け出をした日からの加入ではなく、資格を得た日までさかのぼって支払うことになります。

【遡及賦課(そきゅうふかく)】

◆資格のない保険証で医療機関を受診した場合、医療費の返還をしなければなりません。



平成32年度小中学校を統合し新たに「義務教育学校」設立へ

新たな学校への検討経過

村では年々、児童生徒数が減少し、今後更に人口が減少することが推計される中、児童生徒に確かな学力、豊かな心、健やかな育み等を育成できる活力ある学校を、将来にわたつて維持することが課題になつております。中学校でも数年後に複式学級が始まるを見据え、教育委員会では平成28年から、「学校の在り方」について検討を始めました。

平成29年には、学校職員・議会・行政と一緒に大町市立美麻小中学校の視察を行い、PTAと共に「教育フォーラム」を開催するなど、研究を重ねてきました。

更に平成30年4月、新たに、これからの中学校のあるべき姿を検討する「新たな学校検討委員会」を発足し検討を行つてきました。委員会では4回の会議と白川郷学園の視察を経て、1月の検討委員会で「義務教育学校の導入に向けて」

村では年々、児童生徒数が減少し、今後更に人口が減少することが推計される中、児童生徒に確かな学力、豊かな心、健やかな育み等を育成できる活力ある学校を、将来にわたつて維持することが課題になつております。中学校でも数年後に複式学級が始まるを見据え、教育委員会では平成28年から、「学校の在り方」について検討を始めました。

平成29年には、学校職員・議会・行政と一緒に大町市立美麻小中学校の視察を行い、PTAと共に「教育フォーラム」を開催するなど、研究を重ねてきました。

更に平成30年4月、新たに、これからの中学校のあるべき姿を検討する「新たな学校検討委員会」を発足し検討を行つてきました。委員会では4回の会議と白川郷学園の視察を経て、1月の検討委員会で「義務教育学校の導入に向けて」

進むべき」との答申を頂きました。

これを受けて、村では、平成32年4月に「義務教育学校」を設立に向けて、2月に「義務教育学校設立準備委員会」を発足し、具体的な課題についての検討に入りました。

義務教育学校とは

義務教育学校は、平成28年4月から新しくできた学校制度で、小学校6年間と中学校3年間を一貫して行う学校です。平成29年度には全国で48校（長野県では2校）あります。

今まで根羽小学校、根羽中学校として、それぞれの学校でしたが、義務教育学校になるとひとつの学校となり、1年生から9年生までが一緒に学ぶ学校になります。入学式や卒業式のほか、学校行事も合同で行なうことが多くなります。

①ひとつの中学校のメリット

課題に対して、「小か中か?」「何年生か?」ではなく、「学校全体」でとらえ、学校職員が「一体となつて対応することができます。

②職員の柔軟な配置

教職員は原則として小学校と中学校の両方の免許をもつた先生が配置されます。今後、クラス数が減ることで、県から配置される教員も減少することが予想されますが、義務教育学校になれば、校長先生の裁量で柔軟に職員配置ができます。

また、中学校教員の専門性の一部を小学校の高学年で前倒しをして学ぶことができます。それによって9年生での受験対応の時間を増やすことも可能になります。これは義務教育学校でなければできません。



③独自のカリキュラムの編成

地域や家庭で考える「こんな子どもになつてほしいといふ目標」、「学力向上」、「子どもたちの抱える課題」など、の解決に向けて、学校・教育委員会が独自で9年間を見通したカリキュラム編成ができます。例えば、白川郷学園では「村民学」という独自の教科で地域学習を行なつたり、外国語授業を1年生から学ぶことができ、9年生に向けて継続的に学ぶことが可能となります。

④教育環境の変化への対応

学習指導要領改訂により「アクティブラーニング」や「小学校からの英語」「小中学校の道徳の教科化」等、教育環境の大きな変化が訪れています。現中学2年生の大学入試とそれに伴う高校教育も変わります。こうした変化にいち早く対応できるのが、義務教育学校です。

ることができます。



「運営部会」では学校目標、教育理念、学校施設整備、推進日程など、「教育課程部会」では教育課程、年間行事計画、時間割、学習・生活指導など、「広報・庶務部会」では学校名・校歌・校章などを担当し、それぞれの部会では、学校や保護者とも協議しながら、検討したことを全体会で協議し、決定して行きます。

保護者や住民の皆さんには進捗状況に合わせ、お知らせいたしますのでよろしくお願ひいたします。

今後の進め方

「義務教育学校設立準備委員会」では「運営部会」「教育課程部会」「広報・庶務部会」の専門部会に分かれています。

第21回 福祉と健康の集い

平成31年3月3日(日)しゃくなげにて、第21回福祉と健康の集いが盛大に開催されました。

午前の部 足助病院言語聴覚士近藤真波先生の「お口の体操と講和」

足助病院 院長 早川富博先生による「明るく・楽しく・元気よく」と題した講演会

会場では足助病院の看護師さん達による、健康相談コーナー

午後の部 福祉功労者3名と1団体の表彰。

落語家 立川談慶さんによる「笑いと健康」と題した講演会と落語(大杉大学共催)

当日は、杉っ子、ぽてとの会、梅の会、傾聴ボランティア「和」による各種販売が行われ、会場に花を添えていただき、総勢104名の方々にご参加いただきました。



足助病院 近藤先生によるお口の体操



足助病院 院長 早川富博先生による講演会



式典表彰者



立川談慶さんによる講演



大杉大学生からの花束贈呈



4月2日より渓流釣りが解禁しますので、是非お越しください。

考えています。

業、釣場管理を推進していきたいと

しめるよう放流事

毎回同封頂いてお

たり、漁協組合とし

この16年間にわたり、「根羽川の伊達直人」さんという方から放流事業への寄付金を頂いています。根羽村の応援や根羽川での釣りを楽しみにしているという有難いメッセージも

協同組合からのお知らせ

根羽川漁業



にぎわう四季桜 鳴海寿勇(飯田市)

村長賞

今年度実施しました、第43回ふるさと根羽村「秋・冬の部」コンテストに、9名の方々が入賞されました。今回は満開の四季桜とその周りで人々が振わう瞬間を捕らえた作品が村長賞に、茶臼山から望む山脈を飲み込むような滝雲を写した作品が観光協会長賞に選ばれました。当コンテストに応募された作品は、現在ネバーランドに展示しているのでご覧ください。

また、本フォトコンテストでは、「春・夏の部」の作品を募集しています。是非多くの方々のご応募をお待ちしています。

第43回 『秋・冬の部』審査会結果 ふるさと根羽村 フォトコンテスト



審査員特別賞

**飼い主の幸山さんと
可愛い牛のゆきちゃん**
實原幸代(阿智村)



観光協会長賞

晩秋の滝雲
中根武司(岡崎市)



中日新聞社賞

地球ステーション・ネバー
鈴村嘉章(名古屋市)



中日写真協会賞

紅葉 伊藤孝行(松川町)



写真刊賞

初行帰山初水行
菅沼春彦(飯田市)



コウヤマキと農婦
下川清光(西尾市)

南信州新聞社賞



優秀賞

冬が来る前に 林 良久(飯田市)



雪化粧 熊崎元子(飯田市)

信濃毎日新聞社賞